令和元年度栄養ケア活動支援整備事業【管理栄養士・栄養士による健康支援型配食サービス事業の拡充事業】モデル事業報告会

2020.2.29

認定栄養ケア・ステーションいーと奈良

責任者　藤村　真依

事業をすすめるにあたって～自治体との連携～

◎大和郡山市地域包括支援センター

↓

共催開催

◎大和郡山市保険年金課

包括の想い

- 社会資源の創出
- 「食」に関わる予防事業が未実施
- 包括支援センターを広く周知させたい
- 日本栄養士会認定のケアステーションであることが連携の決め手

県内でも特定検診の受診率が低く、
また腎症の未受診率が高い
⇓
管理栄養士との連携を模索
特定検診の周知

～行政と連携することで～

・事業自体の印象が公益性の高いものとなる
・広報が幅広く可能
・包括スタッフは、参加者との面識もあり、参加者の安心感につながる

事業をすすめるにあたって～配食事業者との連携～

Ciboulette おそうざいとレストラン

〇今までどういう活動をしてきたか
〇今回どのような思いがあり、この事業に参加したいか
〇なぜこのお店を選んだのか

受諾のメール抜粋
食べることの大切さを国として、時代として、見つめることを呼びかけられているのですね。
また、他人であっても家族や親しい友として人生を共にあることを呼びかけられていますね。
この取り組みが国や皆さま方、関係者に希望を感じさせる結果へと結ばれてゆくことを私も願います。

配達エリア外の

シブレットにこだわった理由

☆旬の食材、地域の食材を使っている
☆完全手作りである
☆栄養バランスに配慮され、見ても食べても美味しい
☆一般的な宅配弁当ではなく、唯一無二のものである

食事を売りに？

健康いきいき教室に来ないと食べられない

積極的かつ継続的な参加（外出）

フレイル予防

参加者の場の選定・募集方法

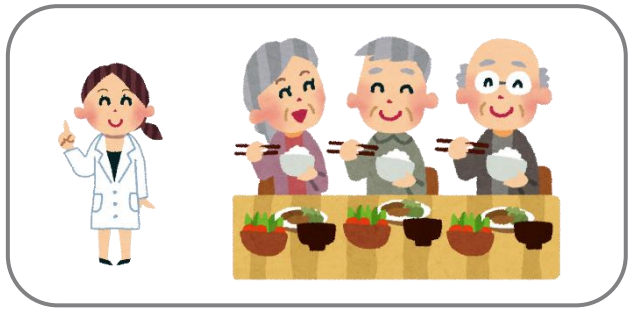
◎共食の場提供型

2019.10.1
オープン

ウェル健康カフェ

地域の方が気軽に立ち寄れるサロン機能
健康情報発信の拠点
農福連携事業

栄養ＣＳ監修



管理栄養士
栄養ＣＳ

通いの場
（ウェル健康カフェ）

配食事業者
（シブレット）

◎チラシ配布募集型

栄養CS
- 老人会
- 居宅事業所
- 研修会

市保健年金課
- 特定保健健診結果に同封

地域包括
- 100歳いきいき体操教室
- 窓口

配食事業所
- 店頭
- お得意様

約500部配布

メリット	デメリット
• 幅広く参加者を募ることができる • 新たな社会資源の創出 • スペースの有効活用と宣伝機能 • 新たなコミュニティの創出	• 集客が大変⇒宣伝広告に労力と費用がかかる • 健康志向、人との関わりに抵抗のない層が集まる

配食事業者との関わり・栄養士のかかわり

主菜１品+副菜４品（うち１品にはたんぱく源使用）
おかずのみ５００円
を使用

栄養計算は未実施も…
食品構成バッチリ❣

◎配達エリア外＆栄養ＣＳが持ち帰り・盛り付け

メリット	デメリット
• 配食事業者の負担軽減⇒事業参加が無理なく可能に • 皿盛りとすることで見た目が良くなる⇒参加者の満足度向上 • こだわりの配食事業所を使用できる⇒美味しくバランスのとれた食事を売りにすることができ、集客＆継続参加につながる	• 衛生面でのリスク • 将来的に利用したくても出来ない⇒配食事業者にとってもメリットがない • 栄養ＣＳの負担は増 • 共食の場にキッチン機能、食器が必要

配達エリア外である
より、美味しく

⇩

栄養ＣＳによる持ち帰り・盛り付け

第1回
2019.12.9

参加人数　６名

- 概要説明＆書式記入
  （管理栄養士）
- 地域包括支援センターの紹介
  （地域包括支援センター）
- 特定保健指導の案内
  （市役所保険年金課）

スタッフ
　ＣＳ管理栄養士　２名
　地域包括　2名
　市役所　１名

第2回
2019.12.23

参加人数　11名

・バランスよく食べよう
（管理栄養士）

宅配弁当も
見ていただ
いています

スタッフ
　ＣＳ管理栄養士　２名
　地域包括　1名
　市役所　１名

第3回
2020.1.13

参加人数　11名

- 体操
  （理学療法士）
- たんぱく質について
  （管理栄養士）

スタッフ
　ＣＳ管理栄養士　２名
　ケアマネージャー２名
　理学療法士　１名

第4回
2020.1.27

参加人数　11名

- 健口について
（歯科医師）

季節先取り蕗の薹天ぷらも

歯科の先生の話しを皆さん真剣に聞いています

見学
　奈良市地域包括支援センター　１名
　奈良市社会福祉協議会　１名

スタッフ
　ＣＳ管理栄養士　２名
　歯科医師　１名
　支援相談員　１名
　市役所　１名

第5回
2020.2.10
参加人数　18名

心の健康
～みんなで笑おう～
（地域包括保健師）
アンケート

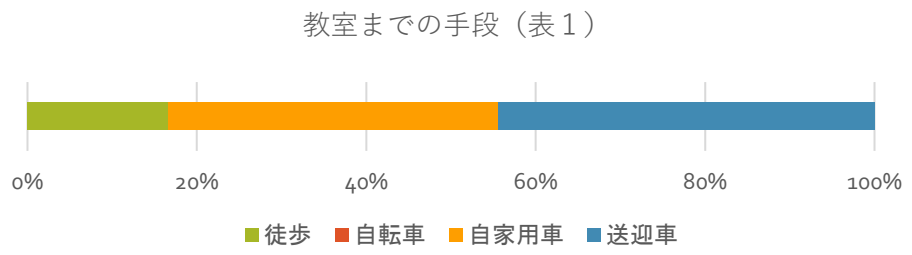
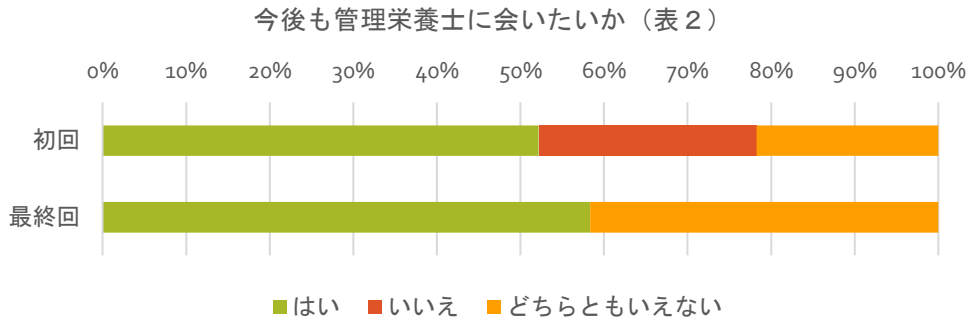
みんなで輪になって脳トレです！

見学
奈良市認知症地域支援相談員　１名
参加者ご家族　１名
スタッフ
ＣＳ管理栄養士　２名
地域包括　2名
支援相談員　１名
市役所　１名

事業実施後の成果

- 参加者総数：26名（男性2名　女性24名）　平均参加回数：2.2回（最高4回）
- 平均年齢：78.5歳（自立16名　要支援１　4名　要支援２　4名　要介護２　1名）

- 「共食の場」「バランスのとれた食事」は地域高齢者のニーズに合致している
- 配食サービスは健康管理のための媒体として十分に機能する
- 「持ち帰り・盛り付け提供型配食弁当」は持続可能な新たな事業モデル
- 栄養ＣＳ、場所（健康カフェ）を行政含む地域に周知
- 社会資源の創出
- 様々な繋がりの創出

課題

- 真のフレイル予防必要群の掘り起こし
- 継続事業で地域に根付いた社会資源に
- 住民参加型への移行
- 移動手段の確保（表１）
- 管理栄養が身近な存在ではない（表２）
- 配食事業所と栄養ＣＳとの関わり、配食ガイドラインの活用について切り口の工夫